

TOKYO ICHIBA PROJECT

～考えてみよう 築地と豊洲のこと～

プロジェクトについてのご案内

平成25年10月31日
「TOKYO ICHIBA PROJECT」広報事務局

東京都中央卸売市場が行います、平成25年度の『TOKYO ICHIBA PROJECT』についてご案内いたします。

『TOKYO ICHIBA PROJECT』は、築地市場の豊洲への移転に向け、中央卸売市場の機能や役割を都民の皆さまに再発見・再認識してもらうプロジェクトです。

2年目となる平成25年度は、「考えてみよう 築地と豊洲のこと」をテーマに、市場をバスで巡るセミナーや、市場に関わる方々と各分野の専門家を招いたイベントなど、都民の皆さまに市場を身近に感じていただく場を提供いたします。

お忙しい折、大変恐縮ですが、ご査収のほど何卒宜しくお願いいたします。日々のご取材にご活用いただければ幸いです。



【豊洲新市場パース図】

本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先

「TOKYO ICHIBA PROJECT」広報事務局 担当：伊藤、菅原

Tel.03-3230-0161 / Fax.03-3230-0162

メールアドレス: press@tokyoichiba-project.metro.tokyo.jp

本件に関する一般の方のお問い合わせはこちら

Tel.03-3457-6770

■『TOKYO ICHIBA PROJECT』とは…

『TOKYO ICHIBA PROJECT』は、中央卸売市場の機能や役割を、より多くの都民の皆さまに再発見・再認識していただき、市場を身近に感じてもらうためのプロジェクトです。昨年は、市場の役割や機能、市場を取り巻く流通環境の変化や歴史、豊洲新市場について情報を発信してきました。

2年目を迎える本プロジェクトは、愛知万博など数多くの博覧会を手掛けたコミュニケーションプロデューサーの牧村 真史（まきむら まさふみ）氏をプロデューサーに迎え、様々な観点から情報発信を行います。

平成25年度の主な活動内容として、「考えてみよう 築地と豊洲のこと」をテーマに築地市場、大田市場、豊洲新市場用地を巡るバスセミナー「TOKYO ICHIBUSセミナー」や、市場で働いている方や様々な有識者を招いて市場の“現在”と“未来”について考えるイベント「TOKYO ICHIBA NOW！」を開催します。また、エリア誌「ウォーカー」シリーズを発行するKADOKAWAとコラボレーションし、市場の主役である市場で働く方にフォーカスしたフリーマガジン「TOKYO ICHIBA Walker」を発行します。

平成25年10月30日（水）より、本プロジェクトのウェブサイト（URL：<http://www.tokyoichiba-project.metro.tokyo.jp/>）を開設し、プロジェクトの様子だけでなく、豊洲新市場の整備に関する情報を順次アップする予定です。

プロデューサー 牧村 真史（まきむら まさふみ）氏 プロフィール

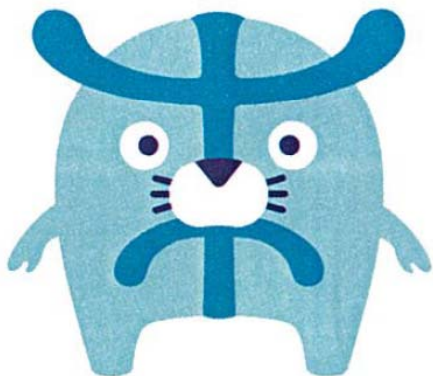


株式会社 集客創造研究所 所長
イベントプロデューサー／コミュニケーションプロデューサー

専門誌、コミュニケーションペーパーの編集長、イベントプロデューサーを経て、1980年に（株）ブレン80を設立、2005年より（株）集客創造研究所所長に就任。
博覧会や都市・地域開発の企画・プロデュースを中心に活動し、EXPO2005愛知万博、2010上海万博日本館をはじめ多数の博覧会などでプロデューサーを務める。

■『TOKYO ICHIBA PROJECT』プロジェクトキャラクター

『TOKYO ICHIBA PROJECT』では、プロジェクトキャラクターであるイッチーノや、その家族のヤサチーノ、コチーノが登場します。新たに開設されるFacebookページでは、都民の皆さまや市場で働く方に向けて、キャラクターの特徴を生かした情報発信を行います。



イッチーノ



ヤサチーノ



コチーノ

■『TOKYO ICHIBA PROJECT』の主な活動内容

※日程・場所・内容等は変更になる場合もございます。あらかじめご了承ください。

① TOKYO ICHIBUSセミナー

～考えてみよう 築地と豊洲のこと～

都民の皆さまを対象に、築地市場、大田市場、豊洲新市場用地をバスで巡るセミナーを開催。市場の見学を通じ、卸売市場を取り巻く流通環境の変化や市場に求められる機能などを学びながら、築地市場の豊洲移転について考えていただく機会をご提供します。

開催日 : 平成25年11月～平成26年2月 全6回

参加定員 : 各回30名×6回(計180名)

参加対象 : 一般都民のみなさま

コース : 築地市場、大田市場、豊洲新市場用地

申込方法 : 「TOKYO ICHIBA PROJECT」ウェブサイト



② TOKYO ICHIBA NOW!

～考えてみよう 築地と豊洲のこと～

築地市場は豊洲へ移転します。そこで「考えてみよう 築地と豊洲のこと」をテーマに、市場で働く人々をはじめ、TOKYO ICHIBA ネットワークのメンバーである市場に関わりのあるタレントや専門家が様々な“市場体験”をナビゲート。皆さんに築地と豊洲を考える特別な1日をお届けします。

開催日時 : 平成25年11月17日(日) 11時～18時

実施場所 : ららぽーと豊洲

【当日プログラム】

■ TOKYO ICHIBA トークライブ

TOKYO ICHIBA ネットワークのメンバーや市場で働く人々が、スペシャルステージで市場の魅力や豊洲新市場への期待を熱く語ります。

■ 模擬せり体験ステージ

模擬せりを体験できるワークショップを開催。普段体験することのできない市場の仕事を、楽しみながら学ぶことのできる場をご提供します。

■ クイズラリー

市場の役割や豊洲新市場に関するクイズラリーを実施。ららぽーと豊洲館内に設置されている全ブースを巡ってクイズに答えた方には、イッチーノグッズをプレゼント。

■ ラジオ ニッポン放送「夏目三久の東京ナビゲッチュ～」内で生中継

イベントは、ラジオ放送とタイアップし、ニッポン放送の松本秀夫アナウンサーがリポーターとしてイベントの様態を生中継します。

なお、10月～1月 毎週日曜日12時35分ごろから、市場で働く人やTOKYO ICHIBA ネットワークメンバーが、市場の魅力や豊洲新市場への期待を熱く語る「TOKYO ICHIBA NOW!」を「夏目三久の東京ナビゲッチュ～」内で放送中です。

※アンケートにお答えいただいた方にはイッチーノグッズをプレゼント。

グッズはなくなり次第、配布を終了させていただきます。

③ TOKYO ICHIBA Walker

全国各地のカルチャーを紹介するエリア誌を発行しているKADOKAWAとコラボレーションした広報誌「TOKYO ICHIBA Walker」を発行します。本誌では築地市場で働いている人々の声をまとめて、豊洲新市場への移転にかける思いなどをお届けします。

11月17日(日)開催のイベント「TOKYO ICHIBA NOW! ～考えてみよう 築地と豊洲のこと～」や、地下鉄の駅ラック、都庁第一本庁舎及び第二本庁舎の1階及び2階受付横のラックなどで配布するほか、TOKYO ICHIBA PROJECTウェブサイトでもご覧いただけます。

編集 : 株式会社 KADOKAWA
発行スケジュール : 平成25年11月～平成26年2月
毎月1回 全4号発行



④ TOKYO ICHIBA PROJECTウェブサイト

本年度の「TOKYO ICHIBA PROJECT」ウェブサイトが10月30日(水)よりリニューアルオープン。市場について様々な情報をお伝えします。

- 掲載内容
- ・TOKYO ICHIBA PROJECTメニュー
 - ・豊洲新市場について
 - ・現場の生声インタビュー
 - ・イチメン、イチジョ
 - ・キャラクター紹介



⑤ 豊洲新市場ガイドブック

豊洲新市場に関する情報をまとめたガイドブックです。「TOKYO ICHIBA PROJECT」のマスコットキャラクターである“イチーノ”ファミリーが登場し、お子様からお年寄りまで幅広い層に分かりやすく豊洲新市場が目指す未来をお伝えします。

11月17日(日)開催のイベント「TOKYO ICHIBA NOW! ～考えてみよう 築地と豊洲のこと～」や、地下鉄の駅ラック、都庁第一本庁舎及び第二本庁舎の1階及び2階受付横のラックなどで配布するほか、TOKYO ICHIBA PROJECTウェブサイトでもご覧いただけます。



【参考資料】築地市場の豊洲への移転について

■ 築地市場移転決定の経緯

築地市場は、長く都民の食生活を支えてきましたが、開場から78年目を迎え、施設の老朽化や狭隘化が進行し、施設の改善が求められています。過去には、現在地での再整備に着手しましたが、工事に必要な用地を確保できず、工期が長期にわたり、市場業者の営業に深刻な影響を及ぼすことなどから、工事を進めることが困難となりました。このため、築地市場を移転し、50年先まで見据えた新たな首都圏の基幹市場として豊洲新市場の整備を進めています。

■ 移転先に豊洲が選ばれた理由

築地市場は、首都圏の生鮮食料品流通の中核を担う基幹市場としての役割を果たしていることに加え、都心に集まっている飲食店や小売店の仕入れの場となっています。そこで、築地市場の商圈に近く、機能や経営の面で継続可能な立地であること、また、大消費地である都心部の周辺の交通条件が良好な立地であることなどから豊洲が移転先として最適とされました。



築地市場と豊洲市場の位置関係

※道路については、整備中のもも含まれます。

■ 豊洲新市場整備のコンセプト

① 食の安全・安心の確保

生産者から消費者に至るまで、生鮮食料品の品質を維持していくため、温度管理が可能な閉鎖型施設として卸売場や仲卸売場を整備するなど、高度な品質・衛生管理を実現します。

② 効率的な物流の実現

売場近くへの荷捌きスペースの配置、場内外周道路の整備、待機駐車場や積込場の十分な確保などにより、荷物や車両がスムーズに流れる市場を実現します。

③ 多様なニーズへの対応

消費者の食生活の変化に伴う小売業者等の顧客ニーズに的確に対応するため、加工・パッケージ施設や仕分け・一時保管を行うための荷捌き場などを整備します。また、首都圏における生鮮食料品の流通拠点として、ハブ機能を強化するため、転配送センターを整備します。

④ 環境への配慮

省エネ機器の採用や、太陽光発電など自然エネルギーの活用、緑化やリサイクルの推進によるゴミ発生量の抑制など、環境負荷を軽減する対策に取組みます。

⑤ 賑わいの創出などまちづくりへの貢献

卸売市場ならではの賑わいを創り出すことを目的として、食の魅力を楽しみながら、市場の活気や賑わいを肌で感じることでできる千客万来施設を整備します。こうした施設の整備により、地域の活性化やまちづくりにも貢献していきます。

現在、東京都中央卸売市場では、豊洲新市場用地の安全・安心を確保するため、土壌汚染対策工事を進めています。

豊洲新市場予定地の土壌汚染対策に関する最新の詳細情報は、以下をご参照ください。

<http://www.toyosusinsijyo-kouji.jp/>